

2009年春夏の浜美化活動を報告 他団体の活動も併せて紹介 環境を考える



2009年度の春夏期の海浜の清掃活動を振り返る浜美化活動報告・懇親会(NPO法人北海道海浜美化を進める会主催)が10月17日、札幌西区の札幌市生涯学習センター「ちえりあ」で開かれた。

当会では、海浜での清掃活動の他にセミナーやフォーラムを開催し、海浜を中心とした環境問題に関心を持って取り組んでいるが、実際に海浜清掃を行った春期と夏期の活動を振り返って海浜環境を再考している。

これまでの報告会では当会のみ活動を報告してきたが、今回は当会と積極的に連携し清掃活動を行っている他に札幌市内で活躍する学生ボランティア団体「Pコネクション」と札幌学院大学の奥谷浩一教授のゼミの活動も併せて報告していただき、海浜環境の在り方、他団体との交流の重要性などについて話し合った。



日本海を中心とした国際的な取り組みが必要

札幌学院大学の奥谷ゼミは毎年6月、羽幌の焼尻・天売島でエコツアーを実施し、海鳥の生態を観察すると同時に、実際に海浜の清掃活動を行っている。この日は、今年の活動を中心に奥谷教授が50枚以上の写真で紹介。世界でも有数の海鳥の生息地がゴミであらされていることを報告した。一方、Pコネクションは札幌市内のゴミ清掃活動や市内の小学生との交流を紹介、地道ではあるが息の長い取り組みを報告した。

海浜ゴミは市民が投棄したもの以外に、漁具や漂着ゴミが多い。中でも漂着ごみは、海流によって南は中国、韓国から北はロシアなどから流れ着くため、日本だけで取り組むには限界がある。他団体の報告の後のディスカッションでは「日本海を中心とした国際的な取り組みが必要で、そういった国々とのボランティア交流が必要になってくる」（奥谷教授）といった意見があった。



「浜美化活動パネル展2009」を開催 札幌エルプラザで12月4日から1週間 12月5日は勉強会も開催

NPO法人北海道海浜美化を進める会では、12月4日から11日にかけて札幌エルプラザ(札幌市北区8条3丁目)において「浜美化活動パネル展2009」を開催します。2009年度の春、夏期に活動した様子を写真で紹介すると同時に、参加者が創った「浜美化標語」「浜美化川柳」を紹介します。小学生から大人まで創った川柳の数は数百にのぼりますが、実際に活動を行った体験談なので、非常に臨場感があります。また、パネル展期間中の12月5日午後6時半から同じ札幌エルプラザにおいて、環境に対する勉強会も開催。冬場のために海浜での清掃活動ができない分、勉強会を通して環境への思いを深めてまいりたいと思います。多くの方の参加をお待ちしています。